

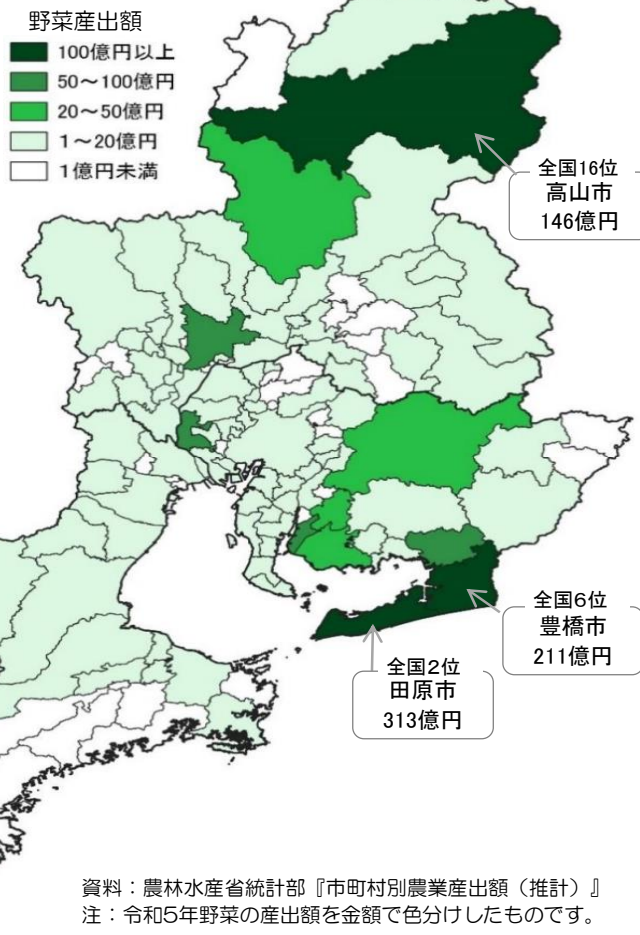
野菜

愛知県はキャベツやトマトの出荷量が全国上位で、野菜の産出額は全国5位

東海3県ではさまざまな野菜が栽培されており、特に愛知県は全国的な野菜の産地です。

愛知県の渥美半島を中心とした地域では、冬の温暖な気候を活かした冬キャベツなどの栽培が、岐阜県飛騨地域では、夏の涼しい気候を活かした夏秋トマト、ほうれんそうなどの栽培が盛んです。

東海3県の野菜の市町村別産出額
(令和5年)



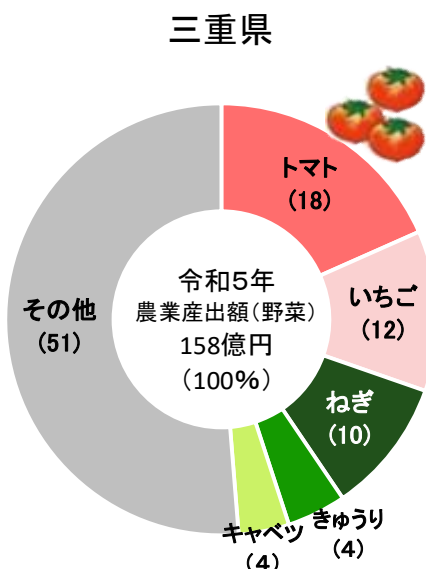
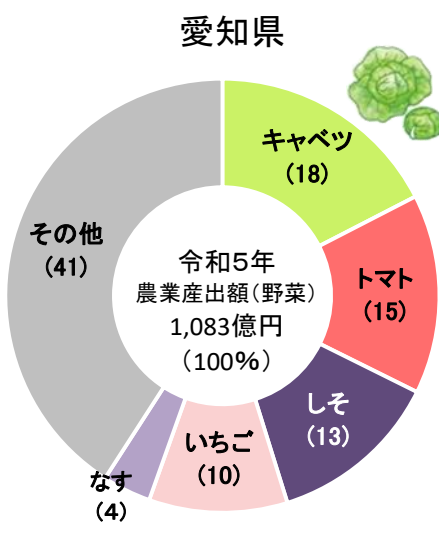
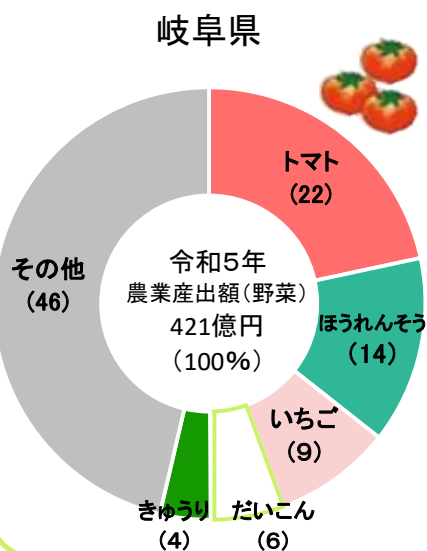
野菜の産出額の全国順位（令和5年）

順位	都道府県	野菜産出額 (億円)	全国に占める割合 (%)
1 (1)	北海道	2,489	11
2 (2)	茨城	1,664	7
3 (4)	熊本	1,365	6
4 (3)	千葉	1,336	6
5 (5)	愛知	1,083	5
6 (7)	長野	957	4
7 (6)	群馬	956	4
8 (9)	埼玉	768	3
9 (8)	栃木	745	3
10 (10)	福岡	734	3
⋮	⋮	⋮	⋮
18 (21)	岐阜	421	2
36 (35)	三重	158	1

資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』

注：（ ）内は前年の順位です。

野菜の産出額の品目内訳（令和5年）

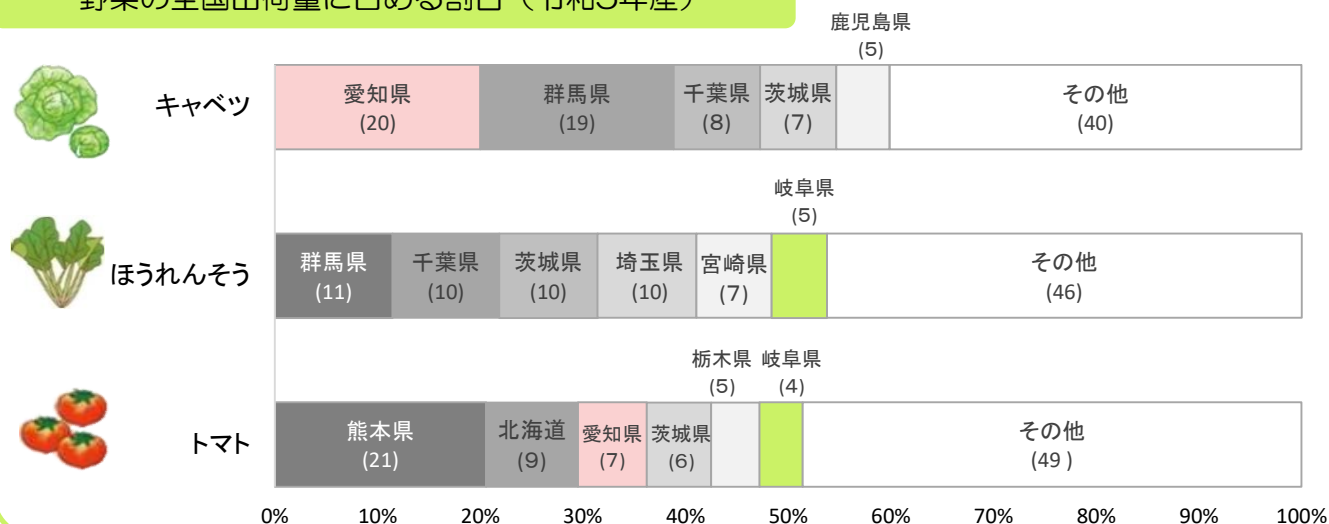


資料：農林水産省統計部『生産農業所得統計』

注：1 四捨五入により計が100%とならない場合があります。

注：2 （ ）内の数字は産出額に占める割合（%）です。

野菜の全国出荷量に占める割合（令和5年産）

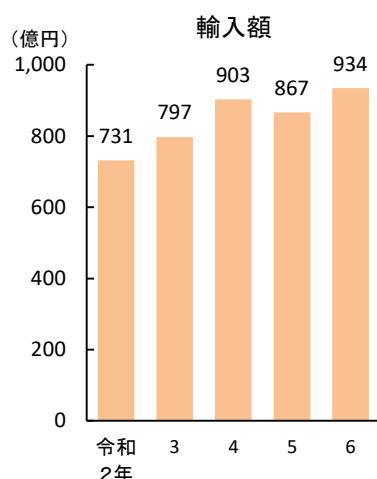


資料：農林水産省統計部『作物統計』

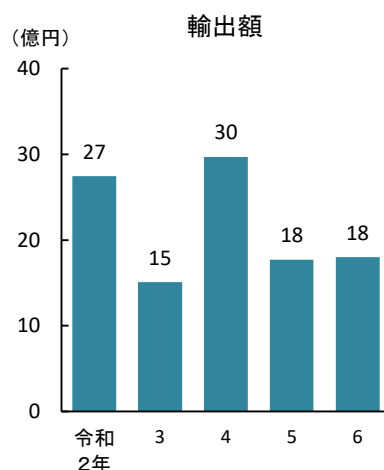
注：1 四捨五入により計が100%とならない場合があります。

注：2 () 内の数値は全国の出荷量に占める割合(%)です。

野菜（生鮮・冷蔵）の輸出入額の推移（令和2年～6年）



令和6年の野菜の輸入額が一番多い品目はたまねぎです。
たまねぎの輸入額は196億円で、中国が183億円と大部分を占めています。

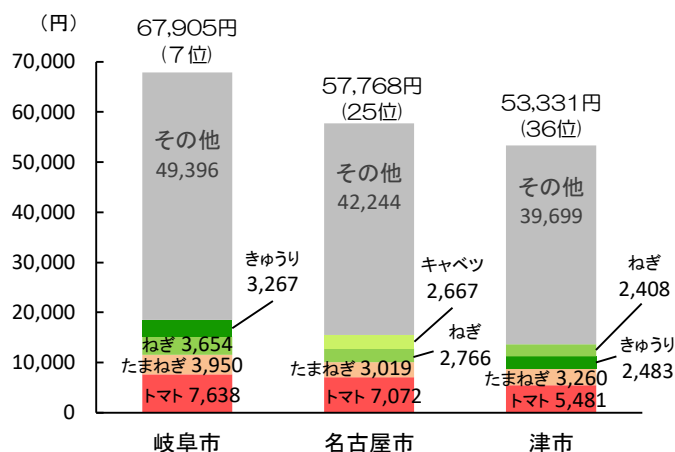


令和6年の野菜の輸出額が多い品目はかんしょ（さつまいも）やなぎいも等です。
主な輸出先は台湾、香港、タイ、シンガポールなどアジア地域が中心となっています。

資料：農林水産省『農林水産物輸出入概況』

令和6年の岐阜市、名古屋市、津市の1世帯当たりの生鮮野菜の支出金額および品目割合

令和6年の総務省の家計調査によると、1年間に1世帯が支出する生鮮野菜の全国平均の金額は58,570円です。
支出金額の多い品目は、トマト6,505円、たまねぎ3,295円、きゅうり2,770円となっています。

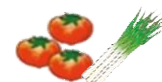


○農林水産省が公表している野菜に関する情報です。

[野菜のページ](#)

[「野菜を食べようプロジェクト」](#)

[野菜の区分について](#)



資料：総務省統計局『家計調査』

注：() 内の数値は全国における順位です。